

人材育成に係る産業界ニーズの分析

分析ツールの使い方

産業界におけるリカレント教育ニーズに係る分析 編

はじめに

- 分析ツールを利用すると **人材育成に係る産業界ニーズの分析（本編）** で見える化したグラフ等について 業種・職種・地域などの観点から **さらに絞り込んだ集計** が可能です。

→ 絞込方法：3～4ページ

- 見える化の目的、手法等につきましては 人材育成に係る産業界ニーズの分析本編に説明がございます。本ツールの利用にあたってはまず **本編の内容をご一読いただけますようお願いいたします。**



e-CSTI ウェブサイトの
分析本編をご一読ください

- 横スクロール型の分析ツールでは A4 用紙 2 ページ程度に収まる **PDF の出力機能** を提供しています。印刷資料やパワーポイント作成等にご活用ください。

→ 印刷方法：5ページ

分析ツールの種類と本編の関係

- 分析ツールは本編との対応関係や用途に応じて数種類あります。



分析ツール	本編との対応
アンケート回答者の属性	本編 2.2 「見える化」に利用したデータ・関連情報
産業界の業務および事業展開・成長に重要な専門知識分野	本編 3.2 企業における業務および事業展開・成長に重要な専門知識分野
出身専門分野と業務の関連度合い、やりがい、年収レベルの関係性	本編 3.1 出身専門分野と業務の関連度合、やりがい、年収レベルの関係性
産業界におけるリカレント教育ニーズに係る分析	本編 4. 資料「産業界におけるリカレント教育ニーズに係る分析」

※ 2021年1月4日現在

ツールの使い方（産業界におけるリカレント教育ニーズに係る分析①）

何についての専門知識分野を表示するか選びます。

複数を選択して比較できます。

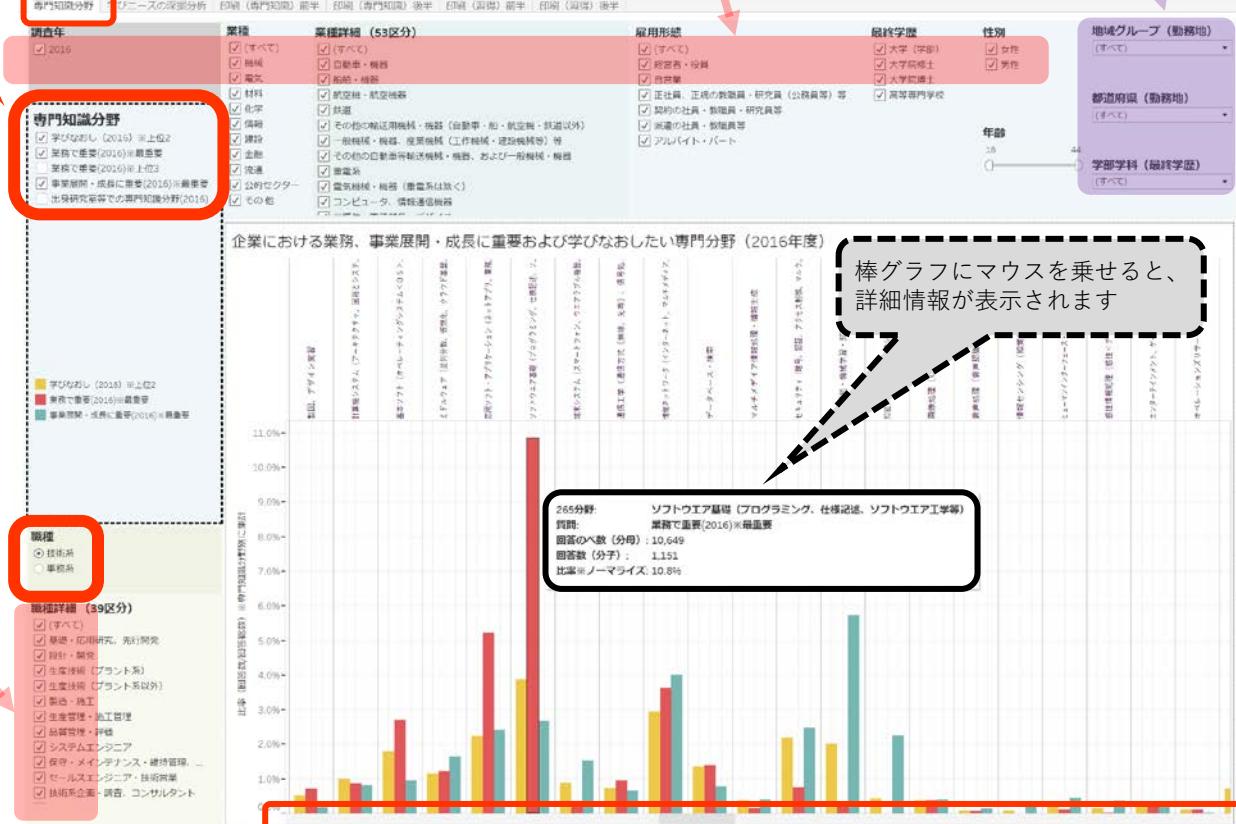
技術系・事務系・専門職の**どのグループ**の回答を見るかを、ひとつ選びます。

技術系・事務系・専門職の選択に応じた詳細職種が表示されます。複数選択できます。

グラフの種類を切り替えます。この画面では 学びなおしたい分野、業務に重要な分野、事業に重要な分野を問う設問において、専門知識 265 分野上に回答者割合を表示します。

チェックボックスは複数選択できます。

地域・都道府県はプルダウンです。
▼クリックで開きます



ツールの使い方（産業界におけるリカレント教育ニーズに係る分析②）

技術系・事務系・専門職の**どのグループ**の回答を見るかを、ひとつ選びます。

グラフの種類を切り替えます。この画面では、学びなおしニーズがどの程度あるか（上段）と専門知識265分野それぞれを専門とする回答者が専門性をどのように習得したか（下段）を表示します。

チェックボックスは複数選択できます。

地域・都道府県はプルダウンです。
▼クリックで開きます

上段・下段の
棒グラフの色
分けルールが
表示されます。

技術系・事務系の選択に応じた詳細職種が表示されます。複数選択できます。



-4-

横方向に 265 分野が広がります。スクロールしてご覧ください。

ツールの使い方（印刷用 PDF の生成）

e-csti.go.jp

画面右下のツールバーにあるダウンロードボタンを使います



下記を参考に設定し、右下のダウンロードボタンを押してください。

- このワークブックの特定のシートを **すべて選択**
- 用紙サイズを **A4 横** にする



ツールの使い方（印刷用 PDF ファイルイメージ）

ツールにより生成される PDF は異なりますが、専門知識265分野を扱うツールについては、2ページで全貌を俯瞰できるような PDF を生成します。印刷資料やパワーポイント作成にご活用ください。

